

元総社地区 地域づくり協議会だより

発行：会長 阿部 明雄
編集：広報委員会
事務局：元総社公民館
電話：251-2243

第7号 2017年(平成29年)3月発行

『地域づくり事業の 新たな展開を』

地域づくり協議会
会長 阿部明雄



平成二八年度の地域づくり協議会の事業も、各部会の役員をはじめ多くの皆さまのご協力をいただき、当初の事業計画がほぼ達成でき、すばらしい成果を挙げることができました。

「明るい元総社」「元気な元総社」「住んで楽しい元総社」の目標を着実に推進できたことに対し、皆さまに厚くお礼申し上げます。

地域づくり事業の八年の実績は、その内容が大変充実をしてまいりましたが、今後さらに各部会の改善と見直しの方策の検

討を進めてまいります。

現在は、「安全安心なくらし」「歴史と伝統・保護」「交流の場づくり」の三部会で事業実施をしておりますが、名称の変更の見直しをはじめ、各部会の事業内容の充実と拡大が必要と考えます。

具体的には、
(一) おとしよりの見守りの
充実

(二) 伝統芸能保存と紹介周知
(三) 地域の安全・パトロール
の充実

などを新規事業に取り入れるなど、新年度において具体的事業の実施を計画しながら推進してまいります。

来年度も、元総社地区の地域づくり事業について皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

○地域づくり協議会役員

前列右から

中澤 清(参与・交流部会長)
高橋正雄(参与・広報委員長)
宮田正憲(副会長・交流副部会長)
阿部明雄(会長)

佐藤宏義(副会長・歴史副部会長)
高津二三夫(参与・歴史部会長)
小鮎文明(参与・広報委員)
後列右から

並木俊一(参与・広報委員)
金井久治(書記会計・安全副部会長)
設樂正治(参与・安全部会長)
村木 健(監査・歴史副部会長)
神保義幸(監査・安全副部会長)
瀬下博雄(参与・交流副部会長)



歴史と伝統 環境保護部会

部会長 高津二三夫

当部会は、昨年引き続き各区から選出された十九名の企画運営委員で活動をしてきました。

四月二十五日十九時から開催された地域づくり協議会総会後に開催された第一回部会で次の事業計画を決定し、活動することとしました。

◇平成二十八年度の事業計画

一、元総社の歴史について学ぶ
公開講座の開催

二、元総社郷土かるた大会の開催

三、郷土かるたの内容を生かしたイベント

を決定しました。

★平成二十八年度事業報告

○元総社の歴史について学ぶ
公開講座

開催日 十月十五日(土)

演題 「元総社の歴史を探る」

講師 都木周彌 さん

元総社の歴史についての公開講座は、講師に元総社在住の郷

土研究家の都木周彌さんをお迎えして開催しました。

元総社の古代から現代までの歴史について、盛りだくさんの資料を使って丁寧に解説していただきました。

受講者数 五十三名

○郷土かるたを巡るウォークラリー

開催日

十一月二十七日(日)

行程 公民館↓宮鍋様↓御霊社↓将門の古戦場↓国分寺跡↓国分尼寺跡↓化粧薬師・三大仏↓公民館

解説 川原嘉久治 さん
参加者 四十名



川原さんは元総社在住の歴史研究家であり、ウォークラリーに同行頂き、各所で詳細で素晴らしい説明をして頂きました。特に年号を即西暦で言い換えるなど大変な記憶力の持ち主です。

○元総社郷土かるた大会

開催日 平成二十九年二月十九日(日)



参加者 二十三チーム 九十

五名(選手、役員、引率者)

今年で八回目となった本大会

では、熱戦の中にも和やかな三世代の交流と地域の交流が図られました。

成績

優勝 一区Cチーム

準優勝 八区Aチーム

第三位 一区Bチーム

第三位 四区ドリチーム

(その他)

①かんぼう元総社連載の「かるたから知る元総社」は二月十五日付け館報で第八号になりました。

②十月二十九日(日)開催の元総社地区文化祭では「歴史教室く勾玉づくり」に初めて体験参加しました。

◇平成二十九年度の事業予定

について

一、歴史講座の開催に変わるものとして、温故知新―地域の昔の写真等の募集・展示を実施する。

二、郷土かるたを巡るウォークラリー

三、郷土かるた大会の開催

四、郷土芸能の振興

を計画しています。

新年度も各種事業への皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

安全安心な 暮らしづくり部会

部会長 設楽正治

◆平成二十八年事業方針

今年も安全安心な暮らしづくりに特化した事業を展開し充実を図る。

元総社地区合同防災訓練や各地区の防災事業を支援し、防災知識と技術を身に付けて頂き、地域住民の防災意識の向上を目指します。

◆平成二十八年事業報告

一、熊本大地震研修会

実施日 六月十七日（金）



目的 部会員の知識の向上を目指す

講師 危機管理室 小平冬人

副主幹

熊本大地震の一週間後に現地に入り、被害状況、避難所の状況、物流の状況等をスライドを使い講演、貴重なお話を聞くことが出来ました。

二、合同防災訓練

実施日 十二月十八日（日）

訓練内容

防災グッズ展示、応急手当、初期消火、応急担架設置と搬送訓練、避難所設営、炊き出し、放水訓練

参加人員 百七十六名

訓練協力団体

危機管理室、西消防署、消防団第五分団、女性防火クラブ
各地区から十人以上の参加を頂き、各地区混成グループが四班に分かれて、訓練を行いました。

本年は新に避難所の設置と

炊き出し訓練を体験していただきました。炊き出しを女性防火クラブだけに任せず、参加者全員で体験するとともに女性防火クラブの方々にも防災訓練を受けていただきました。



三、安全安心な暮らしを守る講習会等の支援事業（一自治会当たり助成金一万円）

一区、防災組織の検討会

三区、防災研修会

五区、災害用資機材訓練

十区、防犯講座

十一区東、防災訓練

十一区西、防犯講座

問屋、防災訓練

安全安心な暮らしを守る視点

から講習会、訓練会等を実施して頂きました。

四、青色パトロールの助成

元総社地区の犯罪の抑止力になつており地域の治安維持に貢献しています。

今後もパトロール活動を支援します。



◆平成二十九年度事業計画

一、元総社地区防災訓練

二、安全安心な講習会等の支援事業

三、リーダー研修会

四、青色パトロールの助成

防災訓練、講習会等を実施して地域の防災力の向上を目指します。新年度も皆様のご協力よろしく願います。

交流の場づくり部会

部会長 中澤 清

平成二十八年四月二十五日、元総社市民サービスセンターにおいて、地域づくり協議会総会が開催され「交流の場づくり部会」の今年度の事業計画が次のように決定されました。

◇平成二十八年度事業計画

一 第二回三世代スマイルボーリング大会の開催
七月三日

二 在宅高齢者ふれあい交流事業等の充実の研修会
平成二十八年十一月頃

◇平成二十八年度事業報告

一 第二回三世代スマイルボーリング大会
開催日 七月三日(日)

場所 元総社小学校

チーム編成 小学三年生く六年生二名、中学生く五九歳

一名、六〇歳以上二名

参加チーム 二十九チーム
成績

優勝 九区Sigmaチーム

準優勝 四区Bチーム

第三位 五区Cチーム

「ストライク賞」 四人

この大会は、今回が二回目、参加チームも七チーム増え盛大に実施できました。

猛暑の一日でしたが、窓を開け涼しい風が入る体育館に応援の声が響き渡り楽しい大会でした。ルールが簡単で、年齢を問わず遊べるスポーツなので三世代の交流を深める最適なものでした。

今大会も体育推進員、交流の場づくり部員、サービスセンター職員の皆様にたくさん協力いただきました。



二 在宅高齢者ふれあい交流事業等の充実の研修会
開催日 平成二十八年

十一月十七日(木)

会場 元総社市民サービスセンター

参加者 自治会長、民生児童委員、交流の場づくり部員 四十九名

助言者 市社会福祉協議会 地域福祉課 北川課長、高山主任

総務課 高橋主事

テーマ 「在宅高齢者ふれあい交流事業の充実のために」

講師 高山主任

(1)講演内容
家族意外と交流が無い人十五%

・元総社地区の全自治会が「いきいきサロン」に取り組み感心
・交流事業の拡充の取り組み

例

集合型の会食会、訪問型の会食会などがある

・孤立を予防するため交流・見守り・支えあいの三段階の活動を

(2)地域福祉課北川課長様の助言

・元総社地域は、サロンや敬老会等で参考になる実践が多い。

・これから「見守り活動」に視点をあて活動を広げて欲しい。



◇平成二十九年度事業計画

一 第三回三世代スマイルボーリング大会の開催
七月九日(予定)

二 在宅高齢者ふれあい交流事業等の実践発表会

各自治会区の「三世代交流の会食会」「三世代交流のゲーム大会・餅つき大会」等の実践発表会を行い交流事業が、充実するようにする。

新年度も皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。